

第三セクター等経営健全化の取組と R7 評価委員会意見

【奥出雲仁多米株式会社】

| | |
|------------|--|
| ①進捗状況と成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・販売が好調で、ふるさと納税定期便の需要が増加 ・農業者への利益還元として「ブランド加算金」を増額 ・堆肥センターとの統合後の資本金が1億円以下となるよう無償減資を実施し資本金を7,000万円とした（堆肥センターと統合後は1億円） ・金融機関からの損失補償付き借入れは無いが、堆肥センターとの統合に伴い借入れの可能性があるため損失補償限度額の縮減は未実施 |
| ②評価委員からの意見 | <ul style="list-style-type: none"> ・損失補償限度額の早期削減を検討すべき ・資金計画を具体化し、内部留保を活用した慎重な運営を推進する ・収支に沿った取り組みはなされているが、目標に対する具体的取り組みがわかりづらい |

【株式会社仁多堆肥センター】

| | |
|------------|--|
| ①進捗状況と成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・奥出雲仁多米株式会社に統合完了（令和7年4月1日） ・統合により堆肥部門の組織体制等を強化し、総務・経理部門の最適化などの効果が得られた |
| ②評価委員からの意見 | <ul style="list-style-type: none"> ・統合により当該法人は無くなるが、奥出雲仁多米株式会社の堆肥部門として経営状況等の評価を行う |

【一般社団法人奥出雲町農業公社】

| | |
|------------|--|
| ①進捗状況と成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・国営開発農地で未利用地（11ha）を整備し、飼料作物（3.2ha）を実証栽培 ・短期貸付や損失補償限度額の縮減は未実施 ・畜産部門の廃止及び事業承継を行うことを方針決定 ・農業公社のあり方（事業内容）の見直しを行うことを方針決定 |
| ②評価委員からの意見 | <ul style="list-style-type: none"> ・畜産事業承継の条件や負債整理の計画を詳細化すべき ・評価を明確化するため、目標や成果、課題を部門ごとに整理する ・新規事業の検討と地域おこし協力隊活用を積極的に進めるべき |

【株式会社舞茸奥出雲】

| | |
|------------|--|
| ①進捗状況と成果 | <ul style="list-style-type: none">・有限会社奥出雲椎茸の破産手続き廃止により特別損失を計上し赤字となった・事業譲渡計画を進めており、令和8年3月完了を目指して交渉中 (令和6年度中の事業譲渡目標は未達成) |
| ②評価委員からの意見 | <ul style="list-style-type: none">・目標を現実的なスケジュールに修正すべき・従業員体制や資金計画の具体化を進めるべき・譲渡不成立の場合の対応を検討すべき |

【株式会社奥出雲振興】

| | |
|------------|--|
| ①進捗状況と成果 | <ul style="list-style-type: none">・温泉施設などの運営で3期連続黒字決算達成・資本金を無償減資(1億9000万円→1億円)し財務構造を改善 |
| ②評価委員からの意見 | <ul style="list-style-type: none">・事業収益が上がる経営体質に改善されている・令和10年度の損失補償の解消に向けて具体的にどのような取り組みを行っていくのか具体的な方策を検討すべき・黒字を継続し、純資産の部の改善をもって金融機関と損失補償解消の交渉に入るのが望ましい |

【奥出雲酒造株式会社】

| | |
|------------|---|
| ①進捗状況と成果 | <ul style="list-style-type: none">・道の駅部門のリニューアル・酒造部門で計画的販売と経費の見直しを実施した |
| ②評価委員からの意見 | <ul style="list-style-type: none">・酒造部門と道の駅部門の業績を別けて評価するとよい・損失補償の段階的解消計画の明確化が必要・奥出雲酒造のあり方の検討・奥出雲振興との統合の可否については、期限を設けて結論を出すべき |

【奥出雲交通株式会社】

| | |
|------------|--|
| ①進捗状況と成果 | <ul style="list-style-type: none">・職員の処遇改善とダイヤの見直し（日祝便の減便、土曜日最終ダイヤを繰り上げ）を実施・令和7年度から三沢、三所地区のデマンド型交通の本格運行開始・貸切バスの需要回復による増収 |
| ②評価委員からの意見 | <ul style="list-style-type: none">・デマンド交通のさらなる拡大とスクールバス対応を進めるべき・運航路線見直しを前倒して進めて行く必要がある・不採算は事業の性質上避けられないが、目標設定の検討が必要 |

【奥出雲電力株式会社】

| | |
|------------|---|
| ①進捗状況と成果 | <ul style="list-style-type: none">・地産地消型の再エネ事業で黒字化継続 |
| ②評価委員からの意見 | <ul style="list-style-type: none">・自社調達電力源の拡充を推進し、外部依存度を削減すべき・脱炭素活動への基金活用範囲を具体化すべき |

【奥出雲町土地開発公社】

| | |
|------------|--|
| ①進捗状況と成果 | <ul style="list-style-type: none">・専任職員の配置・債務削減を進めつつ公社解散準備の実施・民間売却可能な土地のリストアップを実施した |
| ②評価委員からの意見 | <ul style="list-style-type: none">・専任職員を配置し整理が進められていることは評価できる・土地買い上げ予算確保が最大の課題・民間に売却できる土地の整理を優先すべき・公社所有地調査を強化し、収益化の可能性を探るべき |